



1月例会「起承転結起」～自身の軸の作り方～

1月29日 於 まんざら亭烏丸仏光寺店

株式会社ヤスダモデル 安田 一真

今期の会社訪問・研修委員会では、自分と向き合い「何のために生きているのか？幸せとは何か？何のために仕事をしているのか？」を考えるきっかけとなる例会を行い、4回行った勉強会3つの「り」論から得た学びをアウトプット(コミット)してもらい、人間科学研究会 夢雲 主宰の望月昇先生をお招きし学びのまとめとして、講演とワークショップをして頂き例会を開催致しました。

参加人数は、16名とオブザーバー参加に(株)ライマント 古起さんも来られました。

今期4回行いました、勉強会3つの「り」論のアウトプットからスタートし、辻本さん、松浦さん、鈴木さん、安田、佐藤さんに、勉強会を通じて「感じたこと、学んだこと」をお話頂きました。

それを手始めに3つの「り」論の関係性についてのお話から望月先生の講演がスタートしました。

「在り方」は企業リーダーの夢とビジョンにつながり、自身の人生の夢とビジョンを宣言するワークを行いました。

夢を聞かれるのはすこし照れ臭く、言葉にするのも難しいものでした。

「成り方」はゴールに向けての段階的目標設定を伴い、成長段階の過程をいろいろな例えに擬えて、想像を掻き立てました。

「やり方」は企業リーダーの成長・発展の原動力であり、企業リーダーの思考が基本となる事から様々な「やり方」を勉強させて頂きました。その中で自身の過去を振り返り人生のトピック「良い事が起こったこと」「辛いと思ったこと」を書き出し、現在の自身の人生の原動力は何かを発見する内容でした。

懇親会では、会場はそのままレイアウトを少し変えてシンポジウム(「良い話をするためには、美味しいご飯と飲み物が必要」と、望月先生の講演で教えて頂きました)を行いました。

4つのテーブルに分かれてそれぞれコミュニケーションが出来ました、望月先生への質疑も少し時間を取り良いシンポジウムが出来たことと思います。

